

(別紙1) 令和6年度ひょうご子育て応援賞受賞者一覧

区分	活動地域	候補者		功績内容
		団体・企業名	代表者	
企業	明石市	医療法人社団 はるき小児・矯正・歯科	春木 隆伸	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性が働きながら子育てができる職場環境づくり ○明石市初の企業主導型保育園を院内に開設(平成28年) ・スタッフの子どもに加え、地域の子どもたちを保育 ・保育士の体面取得促進のため医院スタッフが子育て支援員の資格を取得 ○柔軟な勤務制度により長く勤められる職場づくり ・時間単位の有休取得 ・週休3日制勤務の選択が可能 ・学校の長期休みの診療時間を前倒し →職員の79%が子ども2人以上、令和5年11月現在、4人が産休・育休中
企業	神戸市	菊正宗酒造株式会社	嘉納 治郎右衛門	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもがいる従業員も安心して長く働ける職場づくり ○子育てとキャリア形成を両立できる職場づくり こどもが小学3年生までの時短勤務制度導入(令和2年4月) コロナ禍に暫定導入した在宅勤務を制度化(令和4年4月) →女性従業員の有休取得率・復職率100%を達成 ○男性従業員の育児休業取得を促進 男性の育児取得体験談を社内報に掲載し社内周知 制度説明と取得奨励のため個人面談を実施 →男性従業員の育児休業取得率 0%(令和2年)→30%(3年)→80%(4年)
団体	神戸市	特定非営利活動法人 サポートステーション 灘・つどいの家	代表理事 丸谷 肇子	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習支援事業 ・長期休みに行う集中的な学習支援(平成30年度～) ・通年・週1回の「学習ひろば」(令和2年度～) ・学習支援、食事支援・こどもの居場所づくりとしての「つどいのひろば」(令和3年度～) ○こども・地域食堂事業(平成31年3月～) 誰もに参加できる食堂を目指し、毎週金曜日開催(第1・2・3金曜担当配布、第4金曜会食も可能) ○フードパントリー事業(令和4年～) ・夏休みにひとり親家庭へ食料支援を実施 ・月に1度、生活困窮者へ食料支援・生活相談を実施し、また、学習ひろば・つどい食堂を紹介し、継続的な支援へ繋げている。 ○小学生、中学生、高校生の研修の受け入れ ・団体発足当初より近隣の学校の受け入れ、交流会を実施し、地域活動に触れる機会を提供している。
団体	神戸市	金曜VBC	代表 石川 典子	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○清風公民館での子どもたちへのバレーボール教室 教室を実施するだけでなく、各地域のバレーボールチームを紹介したり、中学校の部活につなげたり、その後も活動を継続できる環境を提供し続けている。 ○小学生のバレーボールチーム(山の手JVC)での指導 ○地域の子育て支援活動への参加 こども祭り・クリスマス会・もちつき大会(各地域のまちづくり協議会として)、子ども食堂など
団体	神戸市	神戸市須磨区若草地区 民生委員児童委員協議会	会長 田中 敏和	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「かがやけこどもひろば」での学習支援・食事支援 ・平成29年から令和元年まで学習支援・食事支援を月2回実施 ・令和2年度以降は実施回数を週1回に増やし、計6年にわたり学習支援や食事支援を実施 ・令和2年度から近隣の大学へボランティア募集を行いスタッフを増やすなど、学習支援にも注力している。世代間交流の活性化にも努めている。 ○コロナ禍を乗り越え食事支援を継続 ・コロナ禍期間中においても休止することなく継続的な支援を実施 ・コロナ禍で外出が困難な家庭にも食事が提供できるよう配食での対応を行うなど、目の行き届く切れ目のない支援を実施 ○広報活動 ・より多くの子ども達に学習支援・食事支援が行えるよう若草小学校区及び須磨北中学校区を対象に積極的な呼びかけを行い、支援が必要な子ども達への広報活動にも努めている。
団体	淡路市	東浦人形劇団 スマイル	廣田 みち子	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手作りの人形劇等を通じて、地域や親子の交流の場を提供し、地域の子育て支援に貢献 ・主に淡路市内の下記連携先など地域や行政と協力し、子供たちに「豊かな心を育もう」との目的の下、子供たちが楽しみながら学べる環境づくりや親子で学びあひ交流しあえる場を提供。 ・上演する手作りの人形劇などは、昔話や童話などの内容を現代社会に応じた言葉を選び、内容に工夫を凝らした内容とし、子供達が身近に感じられるメッセージを伝えるものとなっている。 ・これらの熱心な活動は、参加した多くの保護者や保育関係者からも大好評を得ており、子供の健やかな成長にもつながっている。 ・令和5年度活動実績 開催回数：20回/年 連携先：保育所、認定こども園、子育て学習センター、児童デイサービスセンター、高齢者大学、公民館教室など 参加者数：1,049名
団体	姫路市	姫路市社会福祉協議会 曾左支部 【あんぱんまん広場】	曾左支部 支部長 中西 斉	<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親子で簡単に踊れるようなダンス等を通じ、親子間のスキンシップを深め、保護者同士やボランティアとの交流を行う場を継続して提供。 ・リトミック(音楽教育法)を取り入れた音楽遊びやマラカスづくりで手先を使う遊びを取り入れる等工夫 ・「親子でヨガ」で、家族同士のスキンシップを深める活動を工夫 ・季節行事等を通じ、毎回楽しんで来られるよう取り組んでいる。
個人	香美町	三輪 一三		<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成17年から89歳の現在に至るまで、交通量の多い通学路(山陰本線香住駅付近の踏切がある信号のないT字路線交差点)において、季節問わず毎朝、幼稚園から高校までの児童・生徒が安全に通園・通学できるように、旗を持って立ち番、交通誘導を行っている。 ・この踏切(山陰本線香住駅付近)において通学時の事故なし。 ・安心して通園・通学でき、保護者からの評価も高い。
個人	新温泉町	山本 清孝		<p>【功績内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新温泉町内すべての小中学校に導入した学校運営協議会制度に関わり、地域コーディネーターとして貢献 ・コミュニティ・スクール実施に向けたモデル校で地域の人材バンク作成に取り組むとともに、子どもの見守り活動を継続 ・可能なものにするため、高齢者クラブと協議し体制を整えた。 ・少子化が急速に進む地域で、学校の子ども達と地域住民をつなぐ事業を企画し、地域全体に活力を与えた。 ・「ぐるっと到来!スタンプラリー」事業は、伝統文化の継承に向け、他地域にも参考となる。 ・長年学校支援に関わった幅広い人脈を生かし、区長会の協力を得て、照来小学校区の7区すべてで協力体制を築いている。 ・区町会の理解を得、参加者からも好評で、継続的に展開できる。 ・ホームページ等幅広く周知し、本事業への問い合わせがあるなど広がりを見せている。